

平成30年度 第5回 開成町協働推進会議 次第

【日時】平成31年3月26日（火）9：30～

【場所】開成町役場3階 議会全員協議会室

1 委員長あいさつ

2 議題

(1) 開成町協働推進計画実施計画（案）について

……資料1

(2) 開成町協働推進計画実施計画掲載事業について

……資料2、3

3 その他

開成町協働推進計画 実施計画

2019年度～2024年度

平成31年（2019年）3月
開 成 町

第1章

計画の策定にあたって

1 計画の趣旨

開成町では、「あじさいのまち開成自治基本条例」及び「第五次開成町総合計画」に基づき、平成26年度（2014年度）から平成30年度（2018年度）までの5年間を計画期間として開成町協働推進計画」（以下、「協働推進計画」とする）を策定しました。

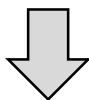
このたび、協働推進計画を平成31年度（2019年度）から平成36年度（2024年度）までの6年間を計画期間として改定したことに伴い、「協働推進計画」に記載された具体的施策の実現のため、計画期間を合わせて「開成町協働推進計画実施計画」（以下、「実施計画」とする）を策定し、町が実施する主な協働事業を定めて進行管理することで、協働推進体制を確立します。

2 目的及び目標

実施計画では、協働推進計画によって達成したい「まちのあるべき姿」を実現するために、事業ごとに協働推進のための具体的施策等を定め、所管部署と協働推進担当課の密な連携により事業展開します。

目的（この計画が目指すこと）

協働によるまちづくりの促進に関する施策を総合的、計画的に取り組むとともに、町民が主役のまちづくりを今まで以上に推進し、「開成町の自治は町民のためのものである」という条例の自治の理念と町の将来都市像を確実に実現すること。



目標（何がどうなれば目的が達成できるのか）

- 協働のまちづくりの担い手が増えること。
- 協働が効果的に行われること。
- 協働に対する理解が深まること。

第2章

計画体系

1 協働事業の抽出

(1) 実施計画に掲載する協働事業

協働事業とは、「町民、議会及び執行機関が、町の課題解決のために対等な立場で、お互いに補い合い協力すること」により実施される事業です。実施計画に掲載する協働事業は、次のいずれかにあてはまるもの全てです。

- ・開成町総合計画・実施計画に掲載されている協働事業
- ・開成町総合計画・実施計画に掲載されていないが、協働の取組として掲載するのが適当である協働事業
(事業実施課と協働推進担当課の調整により、協働事業の掲載可否を判断します)

(2) 協働の形態

事業を次の14種類の形態に分類して管理します。

※それぞれの内容については、協働推進計画及び実施計画に参考資料として掲載しています。

- ①委託、②補助、③指定管理、④支援、⑤実行委員会等、⑥共催、⑦協力、⑧後援、⑨政策提言、⑩企画立案、⑪情報提供、⑫情報交換、⑬アダプトプログラム、⑭その他

2 協働の体系

協働の形態ごとに分類した事業を体系として管理します。体系化することにより、本町の協働事業の傾向を把握することができます。

(ここに事業一覧を挿入)

第3章

進行管理及び評価

1 進行管理及び評価の方法

(1) 事業ごとの取扱いについて

実施計画に掲載された事業を次の2種類に分類し、進行管理及び評価をします。

実施計画進行管理シートA (数値指標のみ)	実施計画進行管理シートB (数値指標・具体的施策の設定等)
○事業の内容や協働相手との役割分担が確立しており、例年同じ内容の事業については、数値指標のみを設定した実施計画進行管理シートAにより、進行管理及び評価を行います。 ○協働の形態が「後援」となる事業については、町及び教育委員会で後援を承認した事業数のみ管理します。	○新規事業や協働推進特別枠で実施する事業のほか、特に進行管理を要する事業については、実施計画進行管理シートBを作成して進行管理及び評価を行います。 ○実施計画進行管理シートBは、数値指標や具体的施策等を設定します。

(2) 実施計画進行管理シート

事業ごとに実施計画進行管理シートを作成し、年度ごとに進捗状況を把握します。実施計画進行管理シートは、年度当初に事業計画を記入し、事業完了後に評価を記入します。

(3) 実施計画進行管理シートの内容

【計画時に記入する部分／実施計画進行管理シートA・B共通】

①事業 No.

- ・協働の形態ごとに事業を分類した上で、総合計画・実施計画の掲載順に番号を振ります。

②事業名

- ・総合計画・実施計画に掲載されている事業名を記載します。なお、協働に関し事業内に複数事業が存在する場合は、複数分のシートを作成し、各シートの「事業名」にはカッコ書きで細かい事業名を示します。

例) 「広報広聴事業」 ⇒ 「広報」と「広聴」が存在

この場合、「広報広聴事業 (広報事業)」「広報広聴事業 (広聴事業)」の2つのシートを作成し、それぞれの事業内容を記載

します。また、具体的な取組を設定する場合は、カッコ書きで取組名を示します。

③所管部署

- ・所管の部・課名を記載します。

④総合計画上の位置づけ、関連計画等

- ・後期基本計画体系の政策、施策、計画を記載します。
- ・関連計画があれば記載します。

⑤協働の相手

- ・協働推進計画における協働の担い手（町民、自治会、町民公益活動団体、事業者、教育機関）を記載します。

⑥協働の形態

- ・協働推進計画における協働の形態（委託、補助、指定管理、支援、実行委員会等、共催、協力、後援、政策提言、企画立案、情報提供、情報交換、アダプトプログラム、その他）を記載します。

⑦実施の時期

- ・年度内における実施の時期を記載します。

⑧事業開始年度

- ・事業を開始した年度を記載します。

⑨予算額・決算額

- ・事業に係る予算額と決算額を記載します。

⑩事業の方向性

- ・事業の方向性を記載します。「継続」「拡大」「新設」等。

⑪事業の概要

- ・協働を視点とした事業概要を記載します。

⑫数値指標

- ・事業計画時に目標値、事業終了時に実績値を記載します。

【計画時に記入する部分／実施計画進行管理シートBのみ】

⑬協働を進めるための具体的施策

- ・町と協働相手の役割分担を決定します。役割分担の決定にあたっては、次のポイントに従って、所管部署と協働相手間で協議の場を持ちます。

	内容
1	事業の目的について、協働相手とよく話し合うこと。
2	互いの立場や組織の違いをよく理解すること。
3	事業の達成目標や実施方法を話し合ってきめること。
4	目標を達成するために、それぞれの特性を生かした役割分担をきめること。
5	会計のルール、費用の負担などについて、確認すること。
6	必要に応じて、関係団体等と連携すること。
7	事業について、町民に広報すること。

- ・決定した役割分担を考慮して、協働推進計画第2章の3「施策体系」から、町が実施する具体的施策を選択して記載します。「何を・いつ・何回やるのか」等、具体的に記載します。

施策体系と各施策内容

《施策体系》

推進方針	基本施策	具体的施策
1 協働意識の醸成	町民の意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発イベント等の開催 ・職員研修の実施 ・協働に関する情報の共有 ・意見交換の実施
	職員の意識改革	
2 自治会の活動支援	自治会の組織力強化	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動のPR ・広報活動の強化 ・地域リーダー育成研修会等の実施
	自治会向け研修の実施	
3 町民公益活動団体等の活動支援	情報発信・PR支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発イベント等の開催 ・情報発信の支援
	マッチング支援	
	活動のステップアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体間の交流の場の提供 ・効果的支援講座の開催 ・助成制度や講座に関する情報の提供 ・協働事業の実践事例の共有
	協働事業の提案	
	町民活動サポートセンターの設置・運営	
4 町政への住民参加の促進	広報広聴活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な協働事業提案のしくみづくり ・各種啓発イベント等の開催 ・情報発信の支援 ・助成制度や講座に関する情報の提供 ・活動場所、設備の提供 ・情報交換会等の開催 ・相談、イベント等講座の充実
	計画づくりと進行管理への参画	
	広報広聴活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な広報媒体の活用 ・意識調査、まちづくり町民集会等の実施
	計画づくりと進行管理への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定過程への町民参画の促進 ・計画進行管理への町民参画の促進

「開成町協働推進計画」第2章より

⑭協働推進担当課からのコメント（計画）

- ・協働推進担当課が記載する欄です。
- ・協働推進担当課が所管部署からヒアリングを実施し、実施計画進行管理シートの掲載内容を確認します。その上で、支援内容や事業についての提案等を記載します。

【評価時に記入する部分／実施計画進行管理シートBのみ】

⑮～年度協働の評価

- ・次の4項目について、20点満点で評価します。
- ・理由欄に評価理由を具体的に記載します。

指標	評価方法
評価① 「数値指標に対する評価点数」 <5点満点>	<ul style="list-style-type: none"> ・「⑪数値指標」に設定した各年度の目標値に対する実績値の割合により評価します。 <p>【評点のつけ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5点（100%以上） 4点（80%以上） 3点（60%以上） 1点（60%未満）

指標	評価方法
評価② 「協働推進のための具体的施策をどの程度実践できたかに対する評価点数」 <5点満点>	<ul style="list-style-type: none"> ・「⑫協働を進めるための役割分担・具体的施策」に記入した具体的施策をどの程度実践できたかにより評価します。 ・理由欄に「何を・いつ・何回やったのか」等を具体的に記載してください。 <p>【評点のつけ方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5点（100%以上） 達成している。 4点（80%以上） 概ね達成している。 3点（60%以上） やや不十分である。 1点（60%未満） 不十分である。

指標	評価方法
評価③ 「協働相手の長所を生かし、協働意識を醸成するように働きかけることができたかに対する評価点数【相互】」	<ul style="list-style-type: none"> ・評価にあたって、事業完了後に所管部署と協働相手で協働の視点から事業を振り返る場を設けます。 ・振り返りの場では、次の内容を話し合います。 <ul style="list-style-type: none"> ①互いの役割分担は適切だったか。 ②協働によりどのような効果が得られたか。 ③協働相手の長所を生かすように働きかけができていたか。 ④協働相手の意識にどのような変化があったか。
	【評点のつけ方】 <ul style="list-style-type: none"> ・チェック項目ごとに達成度を測ります。 5点（100%以上）達成している。 4点（80%以上）概ね達成している。 3点（60%以上）やや不十分である。 1点（60%未満）不十分である。
	【チェック項目】 1) 協働することで、単独で行うのに比べて効果が得られたか。また、どのような効果があったのか話し合って共有したか。 <div style="text-align: right;">< 5点満点 ></div>
	2) 協働相手の長所を生かす工夫ができていたか。 <div style="text-align: right;">< 5点満点 ></div>
<10点満点>	

⑩総合評価

- ・指標①～③の合計点により、A～Eの4段階で評価します。

総合評価

18点以上	A
13点～17点	B
8点～12点	C
0点～7点	D

⑰協働を進めるための課題と対策

- ・協働を進めるための課題と次年度に向けての対策を記載します。

⑱協働推進担当課からのコメント（評価）

- ・協働推進担当課が記載する欄です。
- ・協働推進担当課が所管部署からヒアリングを実施し、実施計画進行管理シートの掲載内容を確認します。その上で、協働推進担当課がアドバイスや次年度に向けた支援の提案をします。

（6）実施計画全体の評価

協働推進計画の目標として掲げる次の3点について、実施計画進行管理シートにより評価します。

目標	評価方法
①協働のまちづくりの担い手が増えること。	次の2点により評価します。 <ul style="list-style-type: none">・実施計画に掲載される年度ごとの事業数の増減・全事業のうち、「協働のまちづくりの担い手が増えること」に関する達成度を測るために設定した数値指標の達成度
②協働が効果的に行われること。	次を参考に評価します。 <ul style="list-style-type: none">・評価②「協働推進のための具体的施策をどの程度実践できたかに対する評価点数」・評価③「協働相手の長所を生かし、協働意識を醸成するように働きかけることができたかに対する評価点数【相互】」・事業終了後に所管部署と協働相手で実施する振り返りの場において出た意見
③協働に対する理解が深まること。	次の2点を参考に評価します。 <ul style="list-style-type: none">・評価③「協働相手の長所を生かし、協働意識を醸成するように働きかけることができたかに対する評価点数【相互】」・事業終了後に所管部署と協働相手で実施する振り返りの場において出た意見

（7）結果の公開

実施計画進行管理シートの内容、開成町協働推進会議における評価結果については、町ホームページ上で公開し、広く町民に周知します。

2 実施計画進行管理スケジュール

実施計画進行管理スケジュールは、次のとおりです。ただし、協働推進計画の計画期間が終了する年度については、計画改定もしくは策定作業のため、事業評価を前倒します。

	事業計画	事業評価
4月	・実施計画進行管理シート作成 (現年度事業計画)	
5月	・協働推進担当課による所管部署ヒアリング (現年度事業計画に対する施策取組の設定、支援の提案等)	
6月	・協働推進会議において審議 (現年度事業計画)	
7月		・実施計画進行管理シート作成 (前年度事業評価)
8月		・協働推進担当課による所管部署ヒアリング (前年度事業の施策取組の結果、次年度に向けた課題整理等)
9月		
10月		・協働推進会議において評価 (前年度事業評価) ・評価結果の公表 (前年度事業評価)
11月		
12月		
1月		
2月		
3月	・所管部署と協働相手による協議 (次年度計画に反映)	

第4章

協働推進担当課の役割

1 町全体の協働推進

(1) 進行管理

実施計画進行管理シートや所管部署からのヒアリングにより、町全体で協働がどの程度推進できているかを把握し、進行管理します。また、事業計画や結果について開成町協働推進会議に諮ります。

(2) 町民活動サポートセンターの設置・運営

町民公益活動団体の活動を支援し、新たに協働に取り組みたい人に情報提供すること等を目的とした町民活動サポートセンターの設置・運営をします。設置・運営にあたっては、町民や町民公益活動団体等によるワークショップ等を開催し、利用者の意見を反映させた施設づくり及び運営をします。

(3) 協働事業や町民公益活動団体等の情報収集

町以外の協働の主体同士（自治会と事業者、町民と町民公益活動団体等）の協働により実施される事業については、実施計画進行管理の対象としていません。しかし、町以外の協働の主体同士による協働事業は、新たな活動事例として参考になるだけでなく、より自主的な活動として町の協働推進に役立っています。このため、町が直接関与していない協働事業についても、情報収集します。

また、町内で活動する町民公益活動団体に関する情報を収集し、必要とする庁内や町民等に対して情報提供できるようにします。

2 所管課に対する支援

協働推進計画第2章3「施策体系と各施策内容」で示した具体的施策のうち、特に次の3点に取り組みます。

(1) 協働に関する情報の共有

庁内ネットワークシステム上に、協働に関する情報を掲載し、所属課以外が実施する協働事業について知る機会を設けます。

(2) 意見交換の実施

協働推進担当課と所管課の職員間で、定期的な意見交換の場を設けます。事業計画を立てる際と事業完了後に評価を行う際に、ヒアリングを実施します。

(3) 積極的な協働事業提案のしくみづくり

町と各種団体の双方が、それぞれの特性を生かした連携や協働事業の提案を積極的に行える制度の整備を進めます。

3 自治会、町民公益活動団体等に対する支援

協働推進計画第2章3「施策体系と各施策内容」で示した具体的施策のうち、特に次の3点に取り組みます。

(1) 自治会活動のPR

自治会の情報や抱える課題を共有して解決に導く検討を進めるとともに、自治会加入促進チラシの作成等により、町民の自治会への加入促進に努めます。特に、高齢化や役員の担い手不足は緊急性が高く重大な課題となっています。

(2) 情報発信の支援

団体が開催するイベント情報や会員募集案内などを平成32年度(2020年度)から供用を開始する役場庁舎に設けられる協働コーナー、「広報かいせい」及び町ホームページに掲載します。また、町民活動サポートセンターのホームページを新規作成し、団体が開催するイベント情報や会員募集案内などを掲載します。

(3) 多様な主体間の交流の場の提供

各種啓発イベントなどの開催を通じて、新たに町民公益活動に参加したい人と会員を募集したい町民公益活動団体とのマッチングや団体間の交流を支援します。

協働事業一覧

資料2

事業No.	事業名	課名	協働の相手	協働の形態
1	食育推進事業 (食生活改善推進員活動)	保険健康課	食生活改善推進員	委託
(新・特)2	子育て環境推進事業 (子ども・子育て支援活動助成事業)	子ども子育て支援室	町民公益活動団体	補助
(新)3	減災対策事業 (感震ブレーカー設置推進事業)	環境防災課	町民、自治会	補助
4	自然環境保全事業 (ホテルの里づくり推進事業)	環境防災課	ホテルの里づくり研究会	補助
5	子育て支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	子ども子育て支援室	町民	支援
(新)6	生涯スポーツ推進事業 (かいせいスポ・レクフェスバル)	自治活動応援課	かいせいスポ・レクフェスティブル実行委員会	実行委員会・協議会
7	商工振興支援事業 (開成町阿波おどり)	産業振興課	開成町阿波おどり実行委員会	実行委員会・協議会
8	観光対策推進事業 (開成町あじさいまつり)	産業振興課	開成町あじさいまつり実行委員会	実行委員会・協議会
9	観光対策推進事業 (瀬戸屋敷ひなまつり)	産業振興課	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会	実行委員会・協議会
10	地域防災力強化事業 (町防災訓練の実施)	環境防災課	町民、自治会、消防団、関係機関	共催
11	自治会運営推進事業 (自治会加入促進)	自治活動応援課	自治会	協力
12	男女共同参画推進事業 (かいせい男女共同参画ボランティア)	自治活動応援課	かいせい男女共同参画推進ボランティア	協力
13	母子保健事業 (母子保健推進員活動)	保険健康課	母子保健推進員	協力
(新)14	放課後子ども教室事業	子ども子育て支援室	小学生児童の保護者、町民	協力
15	コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	町民等	協力
16	小・中学生の地域活動への参加促進	教育総務課	町民	協力
17	土曜学校推進事業	教育総務課	町民・企業	協力
18	健康づくり推進事業 (健康普及員活動)	保険健康課	健康普及員	協力
19	介護予防事業 (いきいき健康体操の普及)	保険健康課	いきいき健康体操指導員	協力
20	高齢者等地域見守り推進事業	福祉課	町民、自治会、町社会福祉協議会等	協力、情報提供
21	災害対策推進事業 (災害時応援協定)	環境防災課	事業所	協力
22	地域防災力強化事業 (防災リーダーの育成)	環境防災課	自治会、町民	協力

協働事業一覧

資料2

事業No.	事業名	課名	協働の相手	協働の形態
23	災害時要援護者支援推進事業 (災害時要援護者登録制度)	福祉課	自治会、民生委員等	協力、情報提供
24	開成町消防組織化推進連絡協議会	環境防災課	消防団、各自治会、町内事業所、消防友の会、小田原市消防本部	協力
25	地域防災力向上事業 (かいせい防犯まちづくり事業)	環境防災課	自治会、小中学校、防犯関係団体等	協力
26	交通安全対策推進事業 (交通安全運動の推進)	環境防災課	警察、学校、交通指導隊、自治会	協力
27	環境美化活動推進事業 (かいせいクリーンデー)	環境防災課	町民、事業者等	協力
28	町の花あじさい維持管理事業 (あじさい剪定ボランティア)	産業振興課	町民・団体	協力
(新)29	町の花あじさい維持管理事業 (開成ブルー育て隊)	産業振興課	あじさいの里親	協力
(新)30	北部地域観光・交流拠点構築事業	産業振興課	町民、事業者	協力
(新)31	かいせい文化祭運営事業	自治活動応援課	町民、町民公益活動団体、学校、事業者	協力
(新・特)32	ブランディング戦略推進事業	企画政策課	町民、町民公益活動団体	協力
33	児童・生徒安全対策事業	教育総務課	町民	協力
(新)34	町民活動サポートセンター設置事業	自治活動応援課	町民、町民公益活動団体	情報交換
35	生涯学習推進事業 (人材バンク制度)	教育総務課	町民	情報交換
36	広報広聴事業 (まちづくり町民集会)	企画政策課	自治会、町民	情報交換
37	地域情報化推進事業 (SNSによる情報発信)	企画政策課	町民等	情報提供
38	道路緑化維持管理事業 (緑地管理のボランティア)	街づくり推進課	町民、町民公益活動団体、事業者	アダプトプログラム
39	公園維持管理事業 (公園管理のボランティア)	街づくり推進課	町民、町民公益活動団体、事業者	アダプトプログラム
40	町の花あじさい維持管理事業 (あじさいの里親)	産業振興課	あじさいの里親	アダプトプログラム
41	自治会運営推進事業 (地域リーダー育成研修会)	自治活動応援課	自治会、町民	その他 (研修)
(新)42	地域防災力強化事業 (防災講座)	環境防災課	町民、自治会	その他 (研修)
43	職員研修事業 (協働意識向上の研修)	総務課	自治会長等	その他 (職員研修)

開成町協働推進計画 実施計画 進行管理シート

事業 No.	4								
事業名	自治会運営推進事業(地域リーダー育成研修会)								
所管部課	部名	町民サービス部	課名	自治活動応援課					
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち						
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進						
	③	計画	町民活動の支援						
関連計画等									
協働の相手	自治会、町民公益活動団体、町民		協働の形態	その他(研修)					
実施の時期	年3回(8月～12月)		事業開始年度	平成25年度					
予算額	2019年度	60千円		事業の方向性	継続				
決算額		60千円							
事業の概要	自治会の役員の方や、地域のきずなづくりを実践したい方などを対象に、地域活動への参加促進の仕組みづくりや、地域課題の発見と解決の手法を学ぶことから、自治会等の人材育成を支援し、地域活動の活性化を促進することを目的に、地域リーダー育成研修会(年間3日・6講座)を開催する。								
数値指標	指標	研修会の受講者数(各年度延べ人数)							
		年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	
	目標値	数値	単位:人	100	110	120	130	140	150
	実績値								
協働を進めるための具体的施策	【具体的施策】								
	①	推進方針	3 町民公益活動団体等の活動支援						
		基本施策	活動のステップアップ支援						
		具体的施策	・効果的支援講座の開催 自治会だけでなく町民公益活動の促進を図るため、円滑な活動やメンバーの資質向上に資する講座を開催します。また、防災講座など他課事業と連携したテーマを設定し、効果的に講座を開催します。						
	②	推進方針	4 町政への住民参加の促進						
		基本施策	広報広聴活動の充実						
具体的施策		・様々な広報媒体の活用 自治会を通じた募集だけでなく、おしらせ版やSNSの活用により、広く参加者を募集します。(おしらせ版1回、Facebook3回掲載予定)また、開催後は講師と調整のうえ、講座内容をHPに掲載します。							
協働推進担当課からのコメント(計画)	防災だけでなく、町内には子育てや高齢者の見守りを担っている町民公益活動団体があります。庁内だけでなく、各種団体との連携も視野に入れて事業計画をしてください。また、連携できる団体については、自治活動応援課からも紹介できます。								

2019年度 協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	5点	5/5点
		防災講座を地域リーダー育成研修会の中の1講座として位置づけて、環境防災課と共同開催した。SNSを活用した広報により、若年層の参加者が〇%増えた。		
	評価②	協働推進のための具体的施策をどの程度実践できたかに対する評価点数	5点	5/5点
		おしらせ版1回、Facebook3回、募集記事を掲載した。また、自治会及び町民公益活動団体に対して開催通知を送付するとともに、参加要請した。		
	評価③	協働相手の長所を生かし、協働意識を醸成するように働きかけることができたかに対する評価点数【相互】→自治会	5点	10/10点
		1) 協働することで、単独で行うのに比べて効果が得られたか。また、どのような効果があったのか話し合って共有したか。		
2) 協働相手の長所を生かす工夫ができていたか。				
	各自治会から参加してもらい、積極的に研修に取り組んでいることから、少しずつ人材育成ができています。また、町民公益活動団体からの参加者も増え、スキルアップ及び人材交流の場として機能している。			
総合評価	A	評点合計	20点/20点	
協働を進めるための課題と対策	将来、受講者に地域のリーダーを担っていただくことを期待しているが、若年層や女性の参加が少ないことが課題となっている。町のHPやFacebookを活用したPRや参加者のニーズにあった研修テーマを定めることに取り組んでいきたい。			
協働推進担当課からのコメント(評価)	計画通りに広報をして、参加者を集めることができています。次年度は、自治会へ募集依頼をする際に協働の考え方を伝えるとともに、アンケート等のニーズ調査の結果を反映して参加意欲を高める事業計画を立ててほしい。			